

2023年4月18日
企業会計基準委員会
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による定期会合の開催

企業会計基準委員会（ASBJ）と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2023年4月17日に、コネチカット州ノーウォークで会合を開催しました。この会合は、高品質でグローバルな会計基準の開発へ向けて連携を深めるために、ASBJとFASBが定期的に行っているもので、今回で32回目となりました。

今回の会合では、ASBJ及びFASBの代表者は、お互いの活動の最新の状況を確認するとともに、両基準設定主体が共通の関心を有している項目である「暗号資産の会計処理」及び「国際的な税制改革の影響の会計処理」等について議論を行いました。

ASBJとFASBは、引き続き意見交換を続けていく予定であり、次回の会合は2023年の後半に東京で開催する予定です。

川西 安喜 ASBJ 委員長は次のように述べています。

「ノーウォークで今回の対面での会議を主催いただいた FASB に感謝の意を表したいと思います。今回の会合では、暗号資産や国際的な税制改革などの経済環境の変化に対応した論点を含む幅広い論点について建設的な議論を行うことができました。このような形で FASB と議論することは、論点に対する我々の理解を深める貴重な機会となり、グローバルな会計基準の品質の向上に寄与することになると考えています。」

リチャード・ジョーンズ FASB 議長は次のように述べています。

「ASBJ との定期協議において、それぞれの基準が、世界中の投資家に対してどのように、より良く、より比較可能性のある資金分配の意思決定に用いられる情報を提供できるかに関して意見交換を行うことができました。今回の暗号資産、国際的な税制改革及びリース等に関する議論では、基準設定における重要な課題及び現在の経済環境における潜在的な影響について、新たな洞察を得るものとなりました。FASB は、ASBJ との長年にわたる実りある協力関係を重視しており、今後もこのような会合を継続していくことを期待しています。」

企業会計基準委員会（ASBJ）について

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2001年7月に公益財団法人財務会計基準機構（FASB）の下に設立されたプライベート・セクターの機関です。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により日本において一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなります。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発しています。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献しています。ASBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト（<https://www.asb.or.jp/jp/>）をご参照ください。

米国財務会計基準審議会（FASB）について

FASBは、1973年に設立された、一般に認められた会計原則（GAAP）に従う公開企業、非公開企業及び非営利組織のために財務会計及び財務報告の基準を設定する独立の民間の機関であり、コネチカット州ノーウォークに拠点を置いています。FASBは、米国証券取引委員会（SEC）により、公開企業のための指定された会計基準設定主体として認識されています。FASBの基準は、各州の公認会計士審査会及び米国公認会計士協会（AICPA）を含む、その他の多くの組織により権威のあるものとして認識されています。FASBは、投資家その他の財務報告書の利用者に有用な情報を提供する財務報告を促進することを意図した、透明性があり、誰でも参加できるプロセスを通じて、財務会計の基準を開発し、公表しています。米国財務会計財団（FAF）は、FASBの支援及び監督を行っています。詳細な情報は、ホームページ（www.fasb.org/）をご参照ください。